



2026年4月22日

各位

会社名 ジェイフロンティア株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 中村 篤弘  
(コード番号：2934 東証グロース)  
問合せ先 取締役執行役員 CFO  
経営企画本部長兼コーポレート本部長  
樋口 雄也  
電話番号 03-6427-4662 (代表)

### 自治体向け防災医療ソリューション事業の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の経営会議において、下記の通り「自治体向け防災医療ソリューション事業」を独立した事業として正式に開始することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本事業に係る取り組みの一環として、内閣官房が推進する国土強靱化基本計画において、「国土強靱化貢献団体認証」(レジリエンス認証)の唯一の認定組織である一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会が主催した「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2026」において、当社サービス「SOKUYAKU(ソクヤク)」が最優秀賞を受賞いたしましたことを、併せてご報告申し上げます。

 SOKUYAKU

## 自治体向け防災医療ソリューション「SOKUYAKU」 【内閣官房が推進する国土強靱化基本計画】



ジャパン・レジリエンス・アワード  
2026

# ジャパン・レジリエンス・アワード2026 最優秀賞受賞



災害時の  
医療アクセス確保



メンタルケアと  
健康相談



避難所での  
遠隔診療サポート

## 1. 事業開始の趣旨

当社グループは、「人と社会を健康に美しく」を経営理念に掲げ、医療・健康領域における社会課題の解決に取り組んでまいりました。その中核サービスである「SOKUYAKU」は、スマートフォンを活用してオンライン診療・服薬指導・処方薬配送を統合したワンストップ医療ソリューションとして、全国の医療機関・薬局と広範なネットワークを構築してきました。

日本は世界有数の自然災害多発国であり、令和6年能登半島地震では、医療機関への移動困難・医薬品供給の停滞・医療従事者不足が深刻化し、非常時における医療提供体制の脆弱性が改めて顕在化しました。また、総務省消防庁によれば、2023年の救急出動件数は過去最多を更新しており、平時から医療アクセスを確保することの社会的重要性も高まっています。

こうした状況を踏まえ、当社はこれまで個別・試行的に実施してきた自治体との協働を体系化・組織化し、「自治体向け防災医療ソリューション事業」として正式に事業化することといたしました。本事業を通じて、平時から非常時まで切れ目なく機能する医療インフラの社会実装を加速してまいります。

## 2. 新たな事業の概要

### (1) 事業の内容

本事業では、当社の「SOKUYAKU」基盤を活用し、自治体との包括協定締結・防災訓練参画・有事対応体制の共同構築を三本柱として展開いたします。

#### ① 平時の医療DX支援：

自治体と連携し、住民向けオンライン診療・処方薬配送サービスの普及推進および地域医療格差の解消に取り組みます。

#### ② 防災訓練・実証参画：

大規模地震・感染症流行等を想定した防災訓練に参加し、行政職員・住民との初動対応プロセスを共同検証します。

#### ③ 災害時医療支援体制の構築：

発災直後から遠隔地医師によるオンライン診療・処方薬の緊急配送を稼働できる体制を事前整備し、自治体の地域防災計画に組み込みます。

### (2) 事業の強み・特徴

「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2026」最優秀賞受賞においては、以下の点が高く評価されました。

<b>フェーズフリー設計</b>	平時の医療利用がそのまま有事転用に直結するため、自治体に追加的な防災専用投資を求めません。
<b>全国規模のネットワーク</b>	提携医療機関数 4,100 院以上・提携薬局 19,000 店舗以上、人口カバー率 91%の基盤を有します。
<b>実績に裏付けられた信頼性</b>	能登半島地震での緊急対応・大阪府コロナ診療センター運営（最大 3,250 名/日対応）等の実証実績があります。
<b>法規制適合・特許基盤</b>	電子処方箋・マイナ保険証対応済みで、オンライン診療から薬配送まで統合する特許基盤を有します。



### (3) 担当部門

SOKUYAKU 事業本部

### (4) 事業開始のために特別に支出する金額及び内容

現時点において特筆すべき特別支出はありません。必要な資金については自己資金で対応することを想定しております。既存の SOKUYAKU 基盤・ネットワークを活用するため、大規模な追加投資を要しない構造となっております。

## 3. 日程

- (1) 経営会議決議日：2026 年 4 月 22 日
- (2) 事業開始日：2026 年 5 月 (予定)

## 4. 今後の見通し

本事業は、政府が推進する医療 DX 政策・地域医療強靱化・防災まちづくりの方向性と合致しており、中長期的な社会的需要の拡大が見込まれます。当社は、本アワード受賞を追い風に自治体との協定締結を積極的に推進し、2027 年 5 月期以降において連結売上高および利益への貢献を見込んでおります。

本件が当社の業績に与える影響については、現在精査中であり、具体的な業績予想への反映が確定し、適時開示の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

参考) ジャパン・レジリエンス・アワード (強靱化大賞) 2026 受賞概要

賞の名称	ジャパン・レジリエンス・アワード (強靱化大賞) 2026 最優秀賞
主催	一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会 (内閣官房が推進する国土強靱化基本計画における「国土強靱化貢献団体認証」(レジリエンス認証)の唯一の認定組織)
受賞サービス	防災医療ソリューション「SOKUYAKU (ソクヤク)」
受賞エントリー区分	企業・産業部門 保健医療・福祉領域/交通・物流領域
評価の要旨	平時の医療基盤を有事に即時転用するフェーズフリー設計、自治体との連携実績、全国規模のネットワーク、特許技術基盤の独自性・波及性が総合的に評価されました。
利用者数の推移	前年同期比 2.5 倍 (2026 年 4 月現在)

以上